

京都八幡高「カレー甲子園2012」準優勝

大会に出場した榊菜穂さん(左)、泉智子さん(中央)、小川瑠子さん(右)



京都八幡高校3年生3人が毎日放送の番組ちんぷいぷいで行われた「高校生カレー甲子園2012」に出場し、見事準優勝に輝きました。

特産品使い「流れ橋」表現

大会は応募した53校の内、予選、本選を勝ち抜いた4校が決勝に進出。「我が町カレー」をテーマに高校生がカレーのアイデアを競いました。3人は高校最後の夏の思い出に出場を決意。夏前から梨、タケノコ、お茶など八幡の特産品を使ったカレーの試作に取り掛かりました。「3種を一緒に使うと味が

「八幡の流れ橋カレー」の作り方

1. じゃがいも、たまねぎ、にんじんを切り、たまねぎをあめ色になるまで炒める。
＜お茶たけのこカレー＞
2. じゃがいも、豚バラ肉を加えて炒める。
3. お茶を入れて煮込み、たけ

た梨を加えて煮込む。
＜盛り付け例＞



毎日放送提供

親子30人 漢字を学ぶ

印鑑作りにも挑戦

認定NPO法人「日本文字文化機構」の主催で「親子で楽しく漢字を学ぶ」講習会が9月8日、市文化センターで行われました。参加した30人の親子連れらは伊藤直樹、神戸一郎講師から漢字の成り立ちを学びました。

同講習会はあたたかな地域社会の実現を目指す京都府地域力再生支援事業の一環。子どもたちが漢字を通じて学ぶ楽しさを感じ、また、親子と一緒に考えることで絆を強めることが狙いです。

講師たちは「漢字は約3300年前に自然の形を写しとって

亀の甲や獣の骨に刻んだ甲骨文字がはじまり。『川』は三すじになって流れている水で、大きな水の流れを表している」など漢字の由来を説明しました。

講演後、参加者はそれぞれの名前や好きな漢字一文字を古代文字に置き換え、印鑑作りに挑戦しました。

参加した、嶋泰智君(9)、太良木康誠君(9)は「時代によって漢字の形が変わっていることに驚いた。また、自分の名前と昔の文字とのつながりが分かって面白かった」と話していました。



講師に教わりながら古代文字の印鑑を作る参加者たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

青春ウルトラフェスティバル! 京都八幡高



高校生と握手を交わす園児たち

園児と高校生 楽しく交流

「第6回文化祭 青春ウルトラフェスティバル!」が9月5日、京都八幡高校で行われ、八幡第三幼稚園の園児41人が高校生と世代をこえてふれあいました。

同校は地域との交流を深めるため、毎年、近隣の幼稚園児らを文化祭に招待しています。園児たちは3グループに分かれ、有志の学生ボランティア9人と担当教諭に案内されながら1年生が趣向を凝らした展示発表などを見て回りました。

各コーナーで高校生がお出迎え。祭りを演出した「おまつりわっしょい×2」で、園児たちは高校生と一緒に手作りみこしを担いだり、アンパンマンなどのボードに向けてボールを投げる的当てを楽しんでいました。

別れ際に、園児たちは「今日はありがとう。メダルなどが貰えて嬉しかった。もっと遊びたかった」と名残惜しそうに高校生と握手を交わしていました。

100歳おめでとうございます

「敬老の日」の前の9月16日、堀口市長と森川議長が今年度に100歳を迎える市民10人のうち、ご自宅におられる3人を訪ね、長寿のお祝いをしました。

来年2月に100歳を迎えられる本田ムメノさんは家族とともに市長らを出迎られました。市長から記念品を贈られると「ありがとうございます」と笑顔で受け取り、日ごろの暮らしぶりについて話をされました。

家族3人で暮らすムメノさんは孫3人、ひ孫3人に恵まれました。毎朝6時半に起

3人に長寿のお祝い

床し、朝食に免疫力を高める作用があるとされるレモンを食べることで、風邪知らずです。

また、約2年前、圧迫骨折で入院した際に「歩かないと足腰が衰える。人と接しないと認知症の症状が進む」と医師から指摘され、毎日欠かさず散歩し、近所の方との交流も楽しんでおられます。

ムメノさんは「みんなに大事にして貰えて幸せ。これからも元気に過ごしたい」とこやかに話されていました。



堀口市長から記念品を受け取る本田ムメノさん